

コミュニティバスの見直し・改善等について

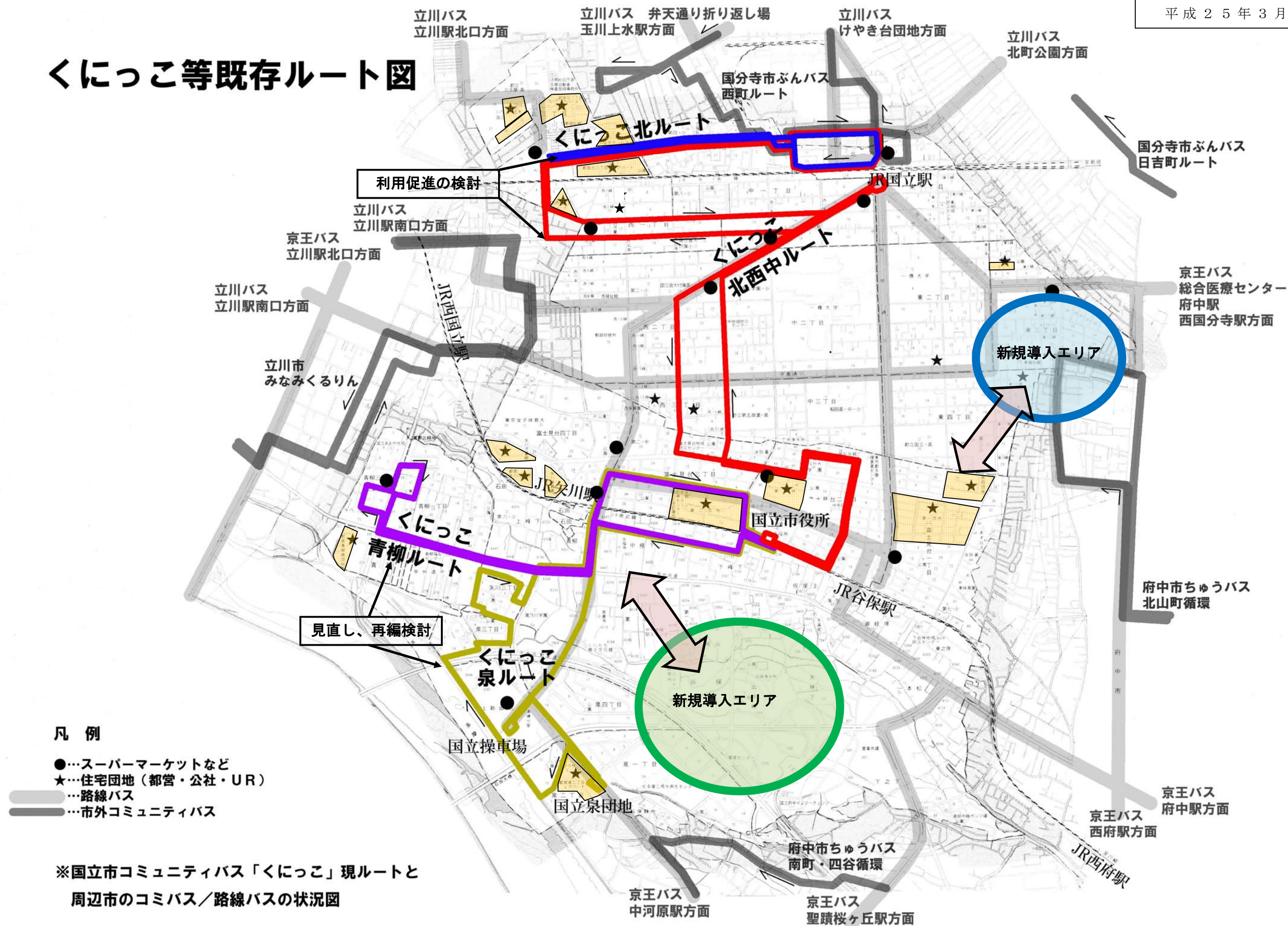
1. コミュニティバスに対する市の考え方

- ①交通不便地域や交通空白地域の解消
- ②高齢者やしょうがい者などの公共交通の移動確保
- ③公共交通へのアクセスや通院、買い物などの生活支援

2. コミュニティバスの課題と市の基本方針

- ①運行経費補助金が市財政にとって負担が大きい
⇒運行形態を見直し、経費の圧縮、利用者の増を図る。
- ②ニーズがあるが、狹隘道路で運行・導入できない。
⇒ワゴン車により試行運行を行い、ニーズがある地域への導入を図る。
- ③平成14年度に導入した「くにっこ」車両が買換時期になっている。
⇒新規に買い換えを行わないで、ワゴン車の購入に充てる。
- ④運行について見直しなどの基準が不明確
⇒交通会議で事業評価の方法・手順などを定める。
- ⑤ルート及びダイヤの見直し
⇒地域との協議、意見交換を行い、市で原案を作成し、交通会議で承認をえる。
- ⑥交通管理者、道路管理者など関係機関との調整
⇒市が直接関係機関と協議し、条件整備を行う。
- ⑦運行事業者の選定
⇒運行事業者は市が選定方法を定め、交通会議で意見聴取する。

くにっこ等既存ルート図



※国立市コミュニティバス「くにっこ」現ルートと
周辺市のコミバス／路線バスの状況図